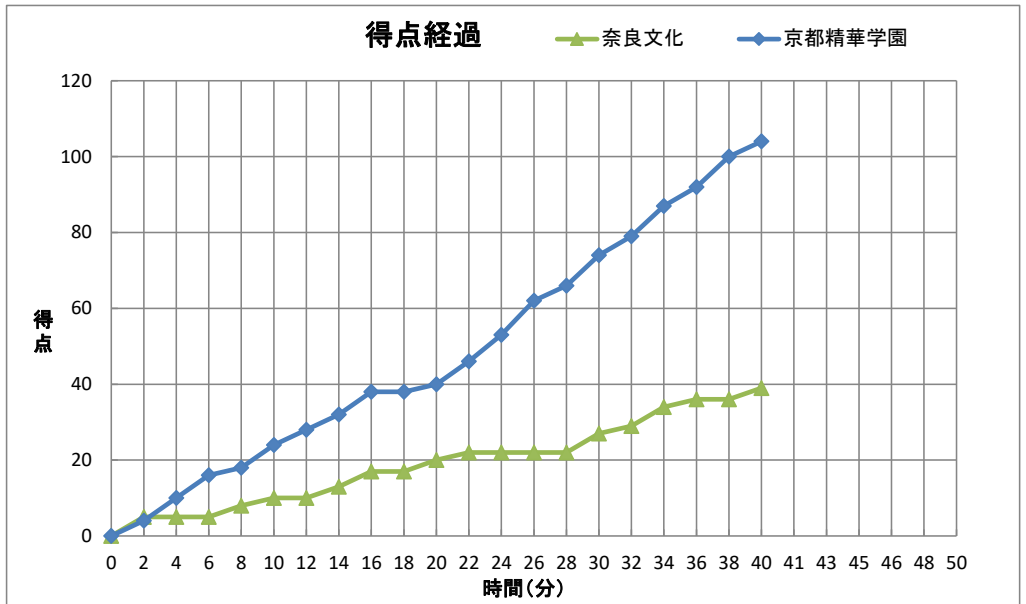




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		6月26日				16:30 開始															
準々決勝						C															
奈良文化 39		<table border="1"> <tr><td>10</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>34</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>30</td></tr> </table>				10	1st	24	10	2nd	16	7	3rd	34	12	4th	30	104		◎ 京都精華学園	
10	1st	24																			
10	2nd	16																			
7	3rd	34																			
12	4th	30																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	木下 万紗羅	9	3	0	0	4	* 4	瀬川 心暖	4	0	1	2	0								
* 5	竹原 美有	9	1	3	0	3	5	呉本 明津実	5	1	1	0	0								
6	増田 涼那	-	-	-	-	-	6	植村 文音	11	3	1	0	0								
7	大道 優月	-	-	-	-	-	* 7	高井 月	0	0	0	0	0								
* 8	加藤 柚月	4	0	2	0	0	8	山崎 玲音	0	0	0	0	0								
9	小西 遥日	3	1	0	0	0	9	宮武 亜衣	7	1	2	0	0								
10	川村 遥香	-	-	-	-	-	10	白石 ちさと	0	0	0	0	0								
* 11	泉 都	0	0	0	0	5	11	山西 美愛	0	0	0	0	0								
12	岸 あかり	-	-	-	-	-	12	山西 凜愛	5	1	1	0	0								
13	小谷 楓	-	-	-	-	-	13	川地 汐夏	4	0	2	0	0								
14	丸山 優梨杏	-	-	-	-	-	14	大森 心寧	5	1	1	0	0								
15	成田 心子	4	0	2	0	3	15	ディマロ ジェシカ	13	0	5	3	0								
16	河野 莉奈	7	1	2	0	0	* 16	八木 悠香	16	0	8	0	2								
17	芳賀 楓花	0	0	0	0	0	* 17	堀内 桜花	4	0	2	0	0								
* 18	竹原 菜奈	3	1	0	0	2	* 18	イゾジェ ウチェ	30	0	13	4	0								
コーチ	川崎 弘策					0	コーチ	山本 綱義					0								
Aコーチ	末永 香里						Aコーチ	中川 瀬名													
合計		39	7	9	0	17	合計		104	7	37	9	2								
主審: 飯尾 勝紀 副審: 小松 綾実 副審: 山本 聡																					



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	5:10	13:51	24:02	:	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 奈良県予選1位の奈良文化対京都府予選1位の京都精華の戦い。奈良文化ハーフコート1-2-2、京都精華ハーフコートマンツーマンでゲーム開始。
 第1Q、奈良文化のディフェンスに対して#18ウチェのリバウンドシュートや#16八木の速攻で着実に得点を重ねていく。残り4分、奈良文化がたまたまタイムアウト。タイムアウト後、奈良文化#18竹原の3Pで得点するも京都精華の激しいディフェンスに攻め手がなく24対10京都精華リードで第1Q終了。
 第2Q、両チームディフェンスは変わらず、オフェンスでは京都精華が#18ウチェのインサイドで点差を広げにかかる。一方、奈良文化は攻めるもなかなかシュートが決まらず苦しい展開となり、開始4分でタイムアウトを請求。タイムアウト後、奈良文化は#15成田のミドルシュートから流れを引き戻しにかかるも40対20京都精華リードで前半終了。
 第3Q、奈良文化はディフェンスをオールコート2-2-1に変え、相手のリズムを崩しにかかるが、京都精華は相手のシュートミスから速攻を確実に決め、流れを渡さない。開始4分でたまたま奈良文化タイムアウトを取るも京都精華の激しいディフェンスに攻め手がなくミスが続き得点を重ねられない。さらに奈良文化#4木下、#11泉のファウルトラブルで得点を重ねられず、74対27京都精華がさらに点差を広げ第3Q終了。
 第4Q、開始早々、奈良文化はオールコート2-2-1で追い上げを図るが京都精華は確実にボールを運び得点を重ねていく。残り5分、京都精華はメンバーチェンジでディフェンスをハーフコート3-2に変え、さらに引き難しにかかる。奈良文化が京都精華のゾーンディフェンスを攻めめぐむ間に、京都精華はリズムよくパスを回し、#9宮武と#14大森が確実に外角のシュートを決め、104-39京都精華の勝利で試合終了。京都精華が危なげない戦いで準決勝進出を決めた。奈良文化も留学生に対しての対策として、内外を上手に使いわけることとディフェンスの変化をしながら戦ったことに健闘を称える。